



発行  
2025年 11月  
板橋区立  
前野小学校

今月「東京2025デフリンピック」が開かれます。デフリンピックは、国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」です。日本でデフリンピックが開かれるのは、今回が初めてです。

【参考】「東京2025デフリンピック 大会情報サイト」

<https://www.deaflympics2025.com/>



## 11月の図書館

げつ	か	すい	もく	きん	ど	にち
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	●	15	16
17	18	19	20	●	22	23
24	25	26	27	●	29	30

●の日に学校司書がきています。



## おと音のふしぎ・ き聞こえのふしぎ

ことば・絵・記号・サイン・ジェスチャー・音楽・リズムなど、おと音や聞こえに関する本を集めました。

書名の右側に「★」がついている本は学校図書館にあります。



E /

『心をひらいて、音をかんで 耳のきこえない打楽器奏者 エヴェリン・グレニー』 ★

シャノン・ストッカー/文 デヴォン・ホルズワース/絵 中野 裕奈/訳 (光村教育図書) 2023年

エヴェリンは小さいころから音楽に親しんでいましたが、10さいのころから病気で音を聞くことが難しくなりました。それでもエヴェリンはあきらめません。中学校で出会った打楽器は、耳で聞こえなくても全身で音を感じることができました。



289 / ほ

『耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ』 ★

ナンシー・チャーニン/文 ジェズ・ツヤ/絵 斉藤 洋/訳 (光村教育図書) 2016年

今では当たり前のように使われている「セーフ」や「ストライク」などの野球のジェスチャーは、ある耳の聞こえない野球選手によって考え出されたものでした。



64 / は

『はたらく犬たち 盲導犬・聴導犬・セラピードッグ ほか』 アルバ/編(金の星社) ★

日本盲導犬協会、日本聴導犬推進協会、日本介助犬協会、日本動物病院協会/監修 2019年

聴導犬という、耳が聞こえにくい人を助ける犬がいます。耳が聞こえにくい人の代わりに音を聞いて、どこから音がしているのかを教えてください。聴導犬の仕事に

ついて、この本でくわしく見てみましょう。